

単元評価規準と小単元評価規準

研究事例	第1章 商業の学習ガイダンス 自作教材を利用した授業展開例			
単元名	第1章 商業の学習ガイダンス 1 21世紀を生きる 2 ゆっくり楽しく学ぶ			
単元の目標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。			
単元 の 評 価 規 準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	商業の学習ガイダンスに関心をもち、商業を学ぶ目的と学び方及び商業の学習分野の意義について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して主体的、継続的な学び方や自らの進路をとらえている。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野に関する様々な資料を活用して、商業の学習分野と進路のかわりについて把握するとともに、その過程及び結果を具体的に説明する。	商業の学習ガイダンスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、商業の学習と進路の結び付きの大切さを理解している。

小単元名	1 21世紀を生きる（4時間）			
小単元の目標	変化が激しく、発展のスピードが速いビジネスの世界で商業を学ぶ目的と学び方及び商業の学習分野が目指しているマーケティング能力、国際交流能力、会計活用能力、情報活用能力の意義について理解させる。また、ビジネスの世界を生き抜くためには創造性や主体性、豊かな人間性が必要であることを理解させる。			
小単元 の 評 価 規 準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野の意義について、意欲的に調べたりまとめたりするとともに、ビジネスを生きるために必要な創造性、主体性、豊かな人間性を自らすすんでまとめたり、確認している。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野の意義について、様々な角度から考察するとともに、ビジネスを生きるために必要な創造性、主体性、豊かな人間性を身に付けなくてはならないことを明確にしようとする。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野に関する様々な資料を活用して、商業の学習分野について把握するとともに、ビジネスを生きるために必要な創造性、主体性、豊かな人間性を具体的に説明できる。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野の意義について理解し、商業を学ぶ中で、ビジネスを生きるために必要な創造性、主体性、豊かな人間性を身につけていかなくてはならないことを理解している。

小単元の指導と評価の計画

小単元「21世紀を生きる」の指導と評価の計画

授業の流れ		一次 ビジネスの世界を生きる（2時間）				
		二次 たくましく生きる（1時間）				
		三次 ともに生きる（1時間）				
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
1	1	・商業を学ぶ目的と学び方及び商業の学習分野が目指しているマーケティング能力、国際交流能力の意義について理解する。	・商業の学習ガイダンスに関心を持ち、商業を学ぶ目的について、自らすすんで理解しようとする。 (行動観察)	・商業を学ぶ目的について、流通の分野、国際化から考察し、明確にしようとする。 (行動観察)	・商業を学ぶ目的について、流通や国際化に関する様々な資料を適切に選択して活用し、具体的に説明できる。 (発言・プリント)	・商業を学ぶ目的は、流通の基礎・基本を理解し、マーケティング能力を養うこと、国際化が進むビジネスを理解し、英語での実践的なコミュニケーション能力を身に付けることであるということを理解している。 (プリント)
	2	・商業を学ぶ目的と学び方及び商業の学習分野が目指している会計活用能力、情報活用能力の意義について理解する。	・商業を学ぶ目的について、自らすすんで理解しようとする。 (行動観察)	・商業を学ぶ目的について、会計の分野、情報化から考察し、明確にしようとする。 (行動観察)	・商業を学ぶ目的について、会計や情報化に関する様々な資料を適切に選択して活用し、具体的に説明できる。 (発言・プリント)	・商業を学ぶ目的は、会計の基礎・基本を理解し、会計活用能力を養うこと、情報処理の基礎・基本を理解し、情報通信技術の活用能力を養うことであるということを理解している。 (プリント)
2	3	・ビジネスの世界を生き抜くためには創造性や主体性が必要であることを理解する。	・ビジネスの世界を生きるために必要とされる創造性や主体性について関心をもち、自分からすすんでまとめたり確認したりしている。 (行動観察)	・ビジネスの世界を生きるために必要とされる創造性や主体性について、様々な角度から考察するとともに、商業の学習で身に付けなくてはいけないことを明確にしようとする。 (行動観察)	・ビジネスの世界を生きるために必要とされる創造性や主体性について、さまざまな資料を活用して客観的に把握し、具体的に説明できる。 (発言・プリント)	・商業の学習を進める中で、変化の激しいビジネスの世界を生きるために、創造性や主体性を身に付けていかなくてはいけないことを理解している。 (プリント)
3	4	・ビジネスの世界を生き抜くためには豊かな人間性が必要であることを理解する。 ・自作教材の活用	・ビジネスの世界を生きるために必要とされる豊かな人間性について関心をもち、自らすすんでまとめたり確認している。 (行動観察)	・ビジネスの世界を生きるために必要とされる豊かな人間性について、様々な角度から考察するとともに、商業の学習で身に付けなくてはならないことを明確にしようとする。 (発言・プリント)	・ビジネスの世界を生きるために必要とされる豊かな人間性について、さまざまな資料を活用して客観的に把握し、具体的に説明できる。 (発言・プリント)	・商業の学習を進める中で、変化の激しいビジネスの世界を生きるために、豊かな人間性を磨いていかなくてはいけないことを理解している。 (発言・プリント)

学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎	単元名	第1章 商業の学習ガイダンス 第1節 21世紀を生きる	
本時の主題	3 とともに生きる（豊かな人間性）			
本時の目標	<p>①ビジネスの世界を生きるために必要とされる豊かな人間性について関心をもち、自ら進んでまとめたり確認している。 【関】</p> <p>②ビジネスの世界を生きるために必要とされる豊かな人間性について、様々な角度から考察するとともに、商業の学習で身に付けなくてはならないことを明確にしようとする。 【思】</p> <p>③ビジネスの世界を生きるために必要とされる豊かな人間性について、さまざまな資料を活用して客観的に把握し、具体的に説明する。 【技】</p> <p>④商業の学習を進める中で、変化の激しいビジネスの世界を生きるために、豊かな人間性を磨いていかななくてはならないことを理解している。 【知】</p>			
過程	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 前時の復習 本時の目標を説明する。 プリントを配布し、本時の授業の進め方について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの世界を生きるために創造性や主体性が必要であることを理解しているか確認する。 本時の目標を確認する。 プリントを受け取る。 グループ（5～6名）に別れ、ノートパソコンを準備する。 パソコンの操作を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問により確認する。 グループ討議ができるように指示しておく。 パソコンの操作がスムーズにできているか確認する。 	注1 資1 注2
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 実際に働く人の話を聞き、ビジネスに必要な人間性は何かを考えさせる。 ビジネスには豊かな人間性が必要であることを理解する。 今後の高校生活（商業科目）の取り組みを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンにより実際に働く人の話を聞き、ビジネスに必要な人間性は何かを考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ビジネスを生きる人間にはどのような人間性（態度や姿勢）が必要ですか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをプリントにまとめる。 グループ内で、意見を発表し合い、他の考えを理解する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>高校生活（商業科目）の中で身に付けることは？身に付けるにはどのように取り組んでいけばいいか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをプリントにまとめる。 グループ内で、意見を発表し合 	<ul style="list-style-type: none"> ただ見るという状態にならないよう、問題意識をもって視聴できるようにする。 前時の創造性・主体性の観点からも考えるよう助言する。 <p>[評価]</p> <p>ノートパソコンを有効的に活用し、自ら進んで考えようとしている。</p> <p>〈評価方法〉（目標①） 机間指導による行動観察</p> <p>[評価]</p> <p>自分の考えをプリントにまとめているか？</p> <p>〈評価方法〉（目標③） 発言・プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> 何を、どこで、どのように、身に付けるのか具体的に考えさせる。 <p>[評価]</p> <p>今後の高校生活、商業科目への取り組みを明確にしているか。</p> <p>〈評価方法〉（目標②）</p>	資2 注3 注4 注5

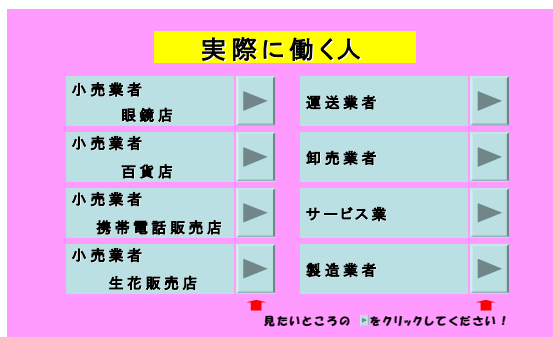
		い、他の考えを理解する。	発言・プリント	
ま と め 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめ ・プリント回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを各グループの代表者が発表する。 ・高校生活（商業科目）の中で身に付けることをプリントにまとめる。 	<p>[評価]</p> <p>ビジネスを生きるために豊かな人間性が必要であり、高校生活（商業科目）の中で磨いていかなくてはいけないことを理解しているか。</p> <p>〈評価方法〉（目標④）</p> <p>発表・プリント</p>	<p>注6</p> <p>注7</p>

1. 事前の準備

- (1) インターネットなどを検索すれば、同じようなものがあるかもしれないが、ねらいをはずさないよう、自主教材を作成した。「ビジネスを生きるために必要な人間性（態度、姿勢）について」事前にインタビューをし、プレゼンテーションソフトで生徒が操作しやすいように作成した。

資料1 プリント

資料2 生徒用プレゼンテーションスライド



- (2) こちらのねらいとズレがないよう、打ち合わせをしっかりとる必要がある。
- (3) あまり少ない人数であると目標が達成できるまでにいたらないので、6人以上は必要であると感じた。
- (4) 音声だけでは聞き取りにくいので、フリップを流すようにした。
- (5) 生徒に興味、関心を持たせるため生徒に身近な人（卒業生を中心）に取材をお願いした。
- (6) 出演していただくにあたり、「授業だけで使用するもの」と告げ、了解を得た。

2. 指導上のポイントと留意点

注1：講義中心の一方向的な授業になりやすいので、生徒に主体性を持たせるため、学習支援パソコンを活用した。また、グループで討議し発表できるような授業展開とした。

注2：情報機器の操作方法は、生徒により差がある。スムーズに行えるよう配慮が必要である。

注3：「ビジネスを生きるために必要な人間性とは？」ではしぼりにくいかもしれないので人間性を態度や姿勢に置き換えた。

注4：机間指導をしながら生徒の考えや状況を把握し、授業展開に反映していく。

注5：商業の学習に留まらず、高校生活全般で考えるよう発問する。

注6：グループの代表者の意見を尊重しながら、補足説明をする。

注7：本時の授業を手がかりに、今後の高校生活を考察させる。すぐできることとして、元気な挨拶・端正な身だしなみ・正しい言葉遣い、欠席をしない等、ビジネスマナーを身に付けていかななくてはいけないことを理解させる。

～ビジネスを生きるために必要な豊かな人間性～

年 組 番 氏名

1. ビジネスを生きるにはどのような人間性（態度・姿勢）が必要ですか？
自分の意見

グループ内の意見

2. 高校生活の中で身に付けることは？

身に付けるための具体的（何を、どこで、どのように）な取り組みを書いてみよう。

身に付けなくてはならないこと	具体的取り組み

4. まとめ